

概要

「シン・ハママツ計画」は、人気アニメ「エヴァンゲリオン」と浜松市がコラボレーションした大規模な観光振興プロジェクトです。2025年4月20日から2026年2月28日までの期間にわたって開催され、浜松市合併20周年と「新世紀エヴァンゲリオン」テレビ放送30周年を記念して実施されています。

この計画の主な目的は、エヴァンゲリオンシリーズのファンや国内外の観光客を浜松市に誘致し、地域経済を活性化させることにあります。特に、映画「シン・エヴァンゲリオン劇場版」のモデル地の一つとされる天竜浜名湖鉄道の天竜二俣駅を聖地として活用することで、浜松の持つ文化や観光の魅力を再発見してもらうことを目指しています。

主な施策

プレゼンテーションでは、以下の主要な施策が紹介されています。

1. 初号機立像の設置

- 場所: 浜松市役所1階ロビー
- 内容: 約6メートルの巨大なエヴァンゲリオン初号機立像を設置。浜松駅・浜松城間の周遊を促すランドマークとしての役割を担っています。来場者アンケートに回答するとオリジナルステッカーがもらえる特典もあります。この立像の足元には、浜松の豊かな自然と森が育む天竜材を使用したモニュメントも設置されています。



2. ラッピング電車・新ヘッドマークの運行

- 内容: 天竜浜名湖鉄道と遠州鉄道の車両に、エヴァンゲリオンのキャラクターや機体がデザインされたラッピングが施され、運行しています。
- 天竜浜名湖鉄道: 初号機や13号機、シンジとゲンドウがデザインされた車両。
- 遠州鉄道: 2号機や8号機、アスカとマリがデザインされた車両。



3. 人類乗車計画2025スタンプラリー

- 内容: 浜松市内および天竜浜名湖鉄道・遠州鉄道沿線の合計21カ所に設置されたスタンプポイントを巡るラリーです。スタンプポイントにはエヴァンゲリオンのキャラクターがデザインされた等身大パネルが設置されています。
- 特典: 異なるスタンプを10個集めると、限定オリジナルステッカーがもらえます。
- スタンプ設置場所(一部): 浜松城天守門(期間中入場無料)、楽器博物館、掛川駅、都田駅、龍潭寺など。

**人類乗車計画
スタンプラリー2025
EVANGELION**

期間中、浜松市内他20箇所に**全10種**＋**シークレット1種**の
エヴァンゲリオンスタンプが用意されています。

期間中に**違うデザインのスタンプを10個**コンプリートされた方は
エヴァンゲリオン×遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道限定ステッカーをプレゼント!

お渡し場所→浜松市観光インフォメーションセンター/遠鉄西ヶ崎駅鉄道営業所/天竜浜名湖二俣駅売店
天竜線新所原駅/天竜線掛川駅 ※お渡し期間は各施設の営業時間に準じます。

01 天竜二俣駅	02 気賀岡所 新浜松駅	03 都田駅 浜松駅バスターミナル	04 西龍島駅 くま水車の里	<p>参加料 無料</p> <p><small>*スタンプは個人 持ち帰ります。</small></p> <p>期間 西暦2026年 2月28日 土まで</p>
05 浜松市 楽器博物館 浜名湖佐久米駅	06 浜松市観光 インフォメーションセンター 本田宗一郎ものづくり伝承館	07 竜ヶ岩洞 新所原駅	08 龍山寺 秋野不矩美術館	
09 浜松城 掛川駅	10 龍潭寺 長坂養蜂場	11 天竜二俣駅で行われる 「転車台見学ツアー」 参加者限定スタンプ <small>※転車台見学ツアーは時間限定です。</small>		

発行所 天竜浜名湖鉄道 遠州鉄道 静岡駅 浜松市 浜松市観光インフォメーションセンター 天竜浜名湖観光サービスセンター 天竜二俣駅 龍潭寺 龍山寺 龍ヶ岩洞 新所原駅 都田駅 西龍島駅 浜松市楽器博物館 浜松市観光インフォメーションセンター 浜松市観光インフォメーションセンター 浜松市観光インフォメーションセンター 浜松市観光インフォメーションセンター
 お問い合わせ 天竜浜名湖鉄道株式会社 営業課 TEL: 053-925-2276
 遠州鉄道株式会社 営業課 TEL: 053-435-0221

4. 遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道 共通1日フリー切符

- 内容: 天竜浜名湖鉄道と遠州鉄道を乗り放題で楽しめる共通フリー切符が、エヴァンゲリオンデザインで販売されています。
- デザイン: 西ルート券は碇シンジ、東ルート券は渚カヲルがデザインされています。

5. コラボメニュー・商品の開発

- 内容: 期間の後半には、市内の飲食店や物販店と連携したコラボメニューや限定グッズの開発・販売も予定されています。

転車台見学ツアー体験レポート

今回の「シン・ハママツ計画」の目玉の一つである、天竜二俣駅の転車台見学ツアーに参加しました。



天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」
車両基地を見に行こう

夜の
転車台&鉄道歴史館見学ツアー
毎月 第2土曜日に開催
18:40~20:20

ガイドと歩いて行く!
転車台&鉄道歴史館見学ツアー

場所 天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」

開催日 毎日 予約不要
※18歳未満の
参加は不可。

開催時間
18:20開
18:40開
18:50開
19:00開

集合場所 「天竜二俣駅」待合室
駅舎待合室で集合場所に入ります。
※駅舎スタッフが案内をいたします。(18歳未満)
※本ツアーは18歳以上の見学には対象外にて
お願いいたします。

ツアー料金 大人 600円 小人 300円
※小人料金は1歳~小学生のみです。(小学生未満は大人料金)
※幼児の参加費は大人料金となっております。

洗って! 回って! 列車でGO!
乗車体験ツアー

場所 天竜浜名湖鉄道「天竜二俣駅」
※当日、定数が満了の際はキャンセルとなります。

開催日 土 日 祝 要予約 定員あり

受付時間 11:00~11:15

開催時間 11:30~12:10

集合場所 「天竜二俣駅」待合室 ※待合室で
乗車体験の準備をいたします。
※待合室スタッフが案内をいたします。(18歳未満)
※本ツアーは18歳以上の見学には対象外にて
お願いいたします。

ツアー料金 大人・小人 一律 900円
※18歳未満は別途料金。
※幼児の参加費は大人料金となっております。

予約方法 ご予約は下記の天竜線イベント
予約サイトからお申し込みください。
<https://airrv.net/tenhamasen/calendar>



第3村
(天竜二俣駅)
Daisanmura
かみのへ 天竜線
*AMINOSUE / FUKUDA-KENKOU



日本の原風景に出会う旅
天竜浜名湖鉄道株式会社
TEL 053-925-2276
(営業時間 9:00~17:00)
〒451-3211 静岡県浜松市天竜区二俣町114-2
<https://www.tenhamaco.jp>



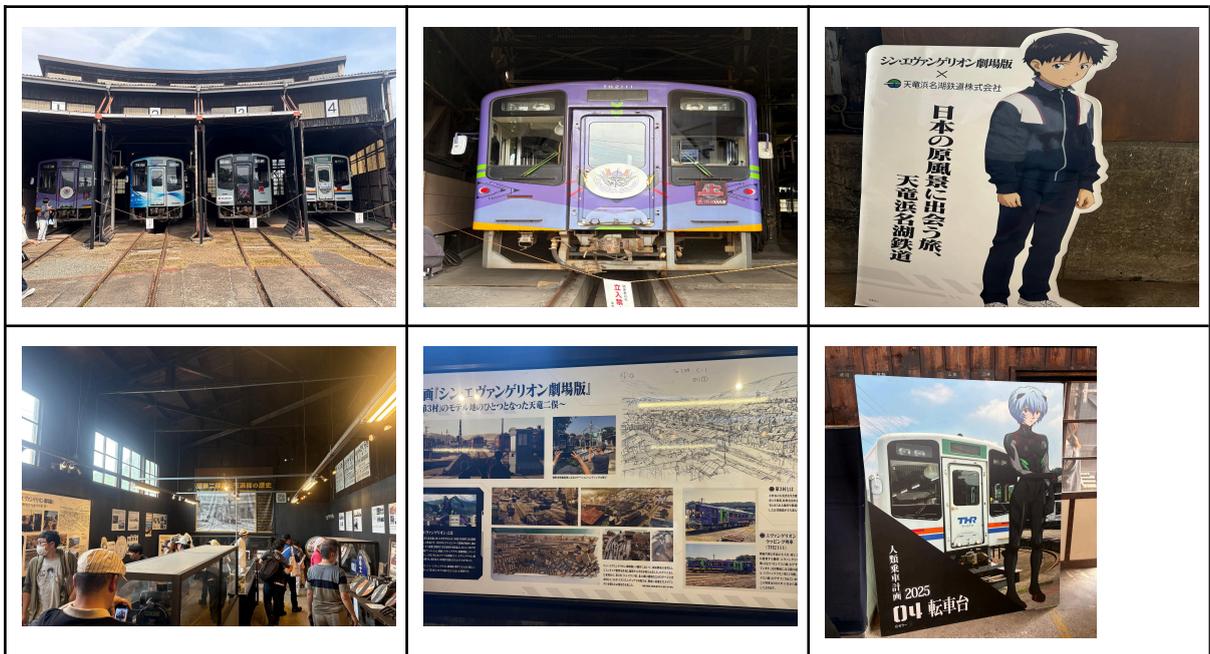
このツアーは、アニメファンにとってまさに「聖地巡礼」の核心部分であり、映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』で登場する**「第3村」**のモデルになったとされる、天竜二俣駅の鉄道施設を巡るものです。

ツアーの集合場所である天竜二俣駅に到着すると、すでに多くのファンで賑わっていました。このツアーのメインは何と言っても「転車台」です。映画で登場するあの巨大な転車台を目の当たりにした瞬間、多くの参加者からどよめきが起こりました。実際に目の前で転車台が回転する様子は迫力満点で、映画のワンシーンが鮮やかに蘇ります。劇中でシンジたちが作業していた場所と同じ場所に立っているという事実に、感動を覚えました。

転車台のすぐ傍には「ロンギヌスの槍」が展示されており、アニメファンにとっては最高のフォトスポットに違いありません。



転車台近くの扇形機関車庫は、レトロな雰囲気が漂う歴史的な建造物で、エヴァンゲリオン初号機ラッピング車両は、現在車両整備中ということで、車庫に格納されていました。また隣接する鉄道博物館にはエヴァンゲリオンのみならず、天竜浜名湖鉄道の歴史なども紹介しており、鉄道ファンにとっても見ごたえがあります。現在行われているスタンプラリーでは、このツアー参加者のみが取得できる限定スタンプがこの博物館内に設置されていることも、このツアーの魅力の一つとなっています。



鉄道の歴史とエヴァンゲリオンの世界が融合した、非常にユニークな体験でした。見学中は、撮影タイムも設けられ、参加者は思い思いに写真を撮り、この特別な体験を記録していました。

平日は午後1回、土日祝は午前・午後1回ずつの2回開催されるこのツアーですが、予約不要であることで気軽に参加できるものとなっています。また実際に車両へ乗車して転車台を体験できるツアーや夜間に実施されるツアーも用意されていますが、どちらも事前予約が必要となります。駅に隣接して50台程度の無料駐車場があり、マイカーでの訪問も可能です。実際に県外ナンバーの車も多数駐車されていました。

今後の展望 今後は、コラボメニューや限定商品の販売を通じて、観光消費額の増加にさらに貢献することが期待されています。大阪・関西万博にあわせて来日する外国人観光客もターゲットとしており、アニメコンテンツを活用した観光誘致の成功事例として、今後の動向が注目されます。

自動車依存度の高い地域において今回展開されている「人類乗車計画」が、地域資源の再認識・有効活用へ電車という交通手段で、どれだけ導いていくことができるかも併せて注目されます。

アニメ聖地巡礼が地域にもたらす多角的価値

聖地巡礼は、地域に多岐にわたる価値をもたらす観光資源となり得ます。

まず、新たな観光資源の創出という点が挙げられます。アニメは、これまで観光地として認識されていなかった日常の風景、例えば道路、公園、学校、商店街などを、ファンにとって魅力的な観光スポットへと変貌させます⁵。これは、特にこれまで目立った観光資源を持たなかった地域にとって、観光政策に注力する「千載一遇のチャンス」となり得ます。作品の物語が持つ力が、物理的な場所を「聖地」という特別な存在へと昇華させ、深い感情的な結びつきを生み出すため、従来の観光開発とは異なるアプローチで地域を活性化させることが可能になります。

次に、地域経済の活性化と雇用創出への貢献です。聖地巡礼によって地域を訪れるファンは、宿泊、飲食、交通機関の利用、そして関連グッズの購入を通じて、地域経済に直接的な利益をもたらします。これにより、観光業を中心に新たな雇用が生まれることも期待されます。例えば、ツアーガイド、イベントスタッフ、宿泊施設や飲食店の従業員、さらには地元製品の生産者など、多岐にわたる分野で経済的な波及効果が広がる可能性を秘めています。

さらに、地域の認知度・好感度向上とブランド確立にも寄与します。アニメ聖地巡礼は、これまで広く知られていなかった地域やその魅力を、作品を介して新たな層に知ってもらう機会となります⁵。聖地を訪れたファンがその体験をSNSなどで共有することで、地域の知名度はさらに向上し、作品と結びついた独自の「地域ブランド」が確立されていきます⁵。このブランド力は、特定の聖地だけでなく、周辺の観光スポットへの誘客にも繋がる事例が見られます。

最後に、地域住民の愛着形成と関係人口の創出という側面です。聖地巡礼は、地域外の人々だけでなく、地域住民にとっても自身のコミュニティの魅力を再発見し、誇りや愛着を深めるきっかけとなります。また、聖地を繰り返し訪れる熱心なファンは、その地域に深い感情的な繋がりを

を抱き、「こころのふるさと」と感じるようになります。このようなファンは、単なる観光客を超えて、地域に継続的に関わり、貢献する「関係人口」へと発展する可能性を秘めています。彼らは、地域のイベントへの参加やボランティア活動を通じて、地域社会の一員として貢献することもあります。

アニメ聖地巡礼は、単に既存の観光資源を補完するだけでなく、地域そのもののアイデンティティと経済的可能性を再定義する変革的な力を秘めていると考えられます。重要なことは、地域住民、行政、ファン、そして著作権元が一体となった多層的な連携と「共創」の精神です。何よりも、地元住民が地域資源であるということの再認識を行うことが大切です。